



天津の子

~Amatsu with your smile~

真庭市立天津小学校

*「天津の子」は本校HPでご覧いただけます。「天津の子」で検索してください。

1 学期終業式

7月19日（月）は1学期の終業式です。それぞれの学年で、子供たちの着実な成長の見られる1学期になりました。

1年生は、初めての小学校生活でした。ノートの書き方、発表の仕方、給食当番や掃除の仕方など多くの学校生活の基本を身に付けることができました。明るく元気なあいさつのできる子もたくさんいます。

2年生は、「鉄棒がんばりカード」に意欲的に取り組める子が多くいました。休み時間には、室内用鉄棒で毎日のように遊び、「両膝かけ回り」や「プロペラ回り」など多彩な技をして楽しむ子が増えました。

3年生は、「田植え」「学校のまわりの地図づくり」「ぶどう畑見学」「市立中央図書館見学」など社会科を中心に自分の目で確かめる学習がしっかりできました。学んだことに対して、自分の考えのもてる子も増えました。

4年生は、「高齢者疑似体験」「認知症について」「車いす体験」「視覚のハンディキャップ」など総合的な学習の時間を通して、様々な立場の人の暮らしについて知る学習がしっかりできました。

5年生は、山の学習を通して、改めて集団生活における協力と規律の大切さを学ぶことができました。総合的な学習の時間では、「健康」について調べたことをタブレットを活用してまとめ、紹介することもできました。

6年生は、学校生活をよりよくしていこうと委員会を中心に自治的活動を進めることができました。総合的な学習の時間では、家族の仕事について調べたり、様々な職業について調べたりすることで将来の夢について考えることができました。

昨年に引き続きコロナウイルス感染症対策のため、行事の変更等もありましたが、保護者の皆様、地域の皆様の、温かいご支援とご協力により無事1学期の終業式を迎えることができます。ありがとうございました。



もうすぐ夏休み ～自分の命は自分で守る～

天津小では、全学年で着衣泳を実施しました。子供たちは、着衣の状態ですぐに入水した場合の、動きにくさをしっかり体感できました。

水泳の授業でクロールや平泳ぎができるようになって、着衣泳をしても、水の事故から命を守ることは難しいことを子供たちには伝えていきます。実際の川は、流れもあれば、深さも均一ではありません。また、池は、深さや泥によりいったん落ちると上がることができなくなります。川で泳いでいた小中高生が命を落とすといった残念なニュースを見聞きすることもあります。子供たちには、自分の命を自分で守るために、川や池の怖さを分かってもらいたいと思います。

水の事故や交通事故に絶対に遭わず、2学期に全員が元気に登校してくれることを切に願っています。



市立中央図書館見学

7月7日（火）に3年生が社会科の学習で、勝山にある市立中央図書館に行きました。普段入ることのできないバックヤードの見学をさせていただいたり、本の分類方法について丁寧に教えていただいたりしました。見学の最後には、1人1冊ずつ本を借りて帰りました。多くの本の中から1冊選ぶのを悩んでいました。今度は、家の人に連れてきてもらい本を借りたいと言っている子もいました。今回の見学を通して分かったことは国語の学習で「報告文」としてまとめています。



視覚のハンディキャップについての学習

7月12日（月）4年生が高取さんをゲストティーチャーに迎え「視覚のハンディキャップ」についての学習を行いました。子供たちは、各自用意してきたタオルを目に当ててうっすらと光を感じることで見える見え方やタオルを二重三重に折って、真っ暗な状態の見え方など、様々なレベルの見え方があることを学びました。また、努力することで、視覚にハンディキャップがあってもできるようになることがたくさんあることも分かりました。体育館に移動する際には、盲導犬が障害物等をよけながら上手に高取さんを誘導する様子を見ることができました。体育館では、音を頼りにフライングディスクを正確に投げる高取さんに感心していました。8月には、パラリンピックが開催されます。パラ選手の姿を通して、努力することの素晴らしさを感じてもらえたらと思います。

